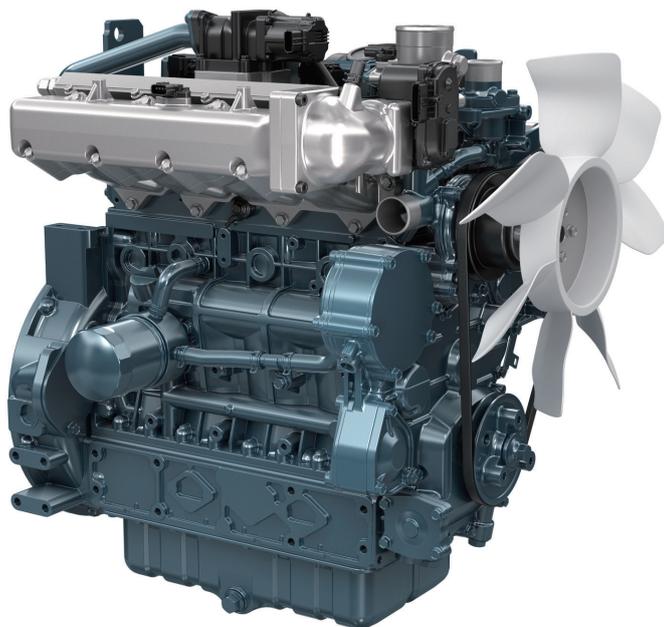


産業用水素エンジン

Kubota 水素エンジン シリーズ(4気筒)

3.8L-Hydrogen



掲載されている写真は製品のイメージを表すもので、実際の仕様や外観は異なる場合があります。

機能と特長

カーボンニュートラルに向けた取り組み

クボタの水素エンジン

クボタは1922年に石油を動力とするエンジンの販売を開始し、以来、重油、軽油、ガソリン、天然ガスなど、複数の燃料で動くエンジンを開発してきました。クボタのエンジンを新しい燃料に対応させることが私たちの使命だと考えています。

私たちクボタは、エンジンを通じてカーボンニュートラルの実現に取り組んでいます。産業機械用エンジンの燃費向上に加え、水素などの脱炭素燃料、バイオ燃料、合成燃料などの代替燃料の適用研究を進めています。クボタは、使用環境、使用方法、使用時間の幅が広い産業機械にとって、エンジンは一つのソリューションであると考えています。

異なる燃料、同じフットプリント & PTO

クボタの水素エンジンは、火花点火式のWG3800エンジンがベースとなっています。既存のエンジンのサイズまたは設置面積を変えないことで、さまざまなアクセサリの選択肢とお客様のアプリケーションとの互換性を維持します。また、パワーテイクオフの位置も変わりません。